

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2006-511626 (P2006-511626A)

【公表日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-014

【出願番号】特願 2003-584189 (P2003-584189)

【国際特許分類】

C 0 9 D 123/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/03 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 125/06 (2006.01)

C 0 9 D 191/06 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 123/00

C 0 9 D 5/03

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 125/06

C 0 9 D 191/06

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 6 日 (2006.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

ポリオレフィンワックスを製造するためのまたは熱分解のために使用されるポリオレフィンポリマーを製造するためのメタロセン触媒は式 M^1L_x で表されるキラルなまたは非キラルな遷移金属化合物である。遷移金属化合物 M^1L_x は少なくとも 1 つの - リガンド、例えばシクロペンタジエニル - リガンドが結合している少なくとも 1 つの中心金属原子 M^1 を有している。更に、中心金属原子 M^1 は置換基、例えばハロゲン原子、アルキル、アルコキシまたはアリール基が結合していてもよい。 M^1 は元素周期律表の第 III、IV、V または VI 主属の元素、例えば Ti, Zr または Hf であるのが好ましい。シクロペンタジエニル - リガンドとは非置換のシクロペンタジエニル基および置換されたシクロペンタジエニル基、例えばメチルシクロペンタジエニル、インデニル、2 - メチルインデニル、2 - メチル - 4 - フェニルインデニル、テトラヒドロインデニルまたはオクタヒドロフルオレニル基を意味する。___ - リガンドは橋架けされていてもまたは橋架けされていなくてもよく、その際に単一および多重ブリッジ（環系によるブリッジも含む）の両方が可能である。“メタロセン” とは、1 つより多いメタロセン - フラグメントを含む化合物、いわゆる多核メタロセンも含む。これらは任意の置換パターンおよびブリッジ変種を有していてもよい。かゝる多核メタロセンの個々のメタロセン - フラグメントは互いに同一でも異なっていてよい（ヨーロッパ特許出願公開第 0, 6 3 2, 0 6 3 号明細書 (A)）。